

(お知らせ)

令和3年4月7日
航空自衛隊那覇基地司令

泡消火薬剤の飛散に伴うPFOS調査結果について

那覇基地において、2月26日に基地周辺へ飛散した泡消火薬剤のPFOS含有及び、交換後の泡消火薬剤におけるPFOS含有の要因を調査するため、専門業者に外部委託し、基地内及び周辺の水質調査及び基地周辺の土壌調査を行いました。今般、その調査結果が報告されたので、下記のとおりお知らせします。

記

- 1 基地周辺へ飛散した泡消火薬剤におけるPFOS含有については、沖縄県及び那覇市と協力しながら、以下の水質調査及び土壌調査を実施しました。水質調査は1検体あたり1Lを採取し、土壌調査は1検体あたり1kgを採取しています。(採取場所は別紙のとおり。)

単位 (ng/L)

種別	採取場所	番号	PFOS	PFOA	PFHxS
水質	基地内水路上流	1	68	51	127
	基地内水路中流 ^{※1}	2-a	不検出	8	不検出
		2-b	31	10	不検出
		2-c	不検出	9	不検出
		2-d	不検出	8	不検出
		2-e	3,010	3,380	3,040
	基地内水路下流	3	不検出	39	194
	基地外海水①	4-①	不検出	6	12
	基地外海水②	4-②	不検出	不検出	不検出
基地外海水③	4-③	不検出	不検出	不検出	
土壌	基地周辺 ^{※2}	A-a	15	11	
		A-b	19	24	
		A-c	4	5	

※1 基地内水路に流出した泡消火薬剤と水路中の水(くまなく回収するため)を採取場所から同日中に回収したものを検体として分析しています。

※2 雨などが降った際に、水たまりが出来、そこに土壌からPFOS等が溶け出した場合を想定したシミュレーションを行い、その結果を数値として表したもの。今後、那覇市と同様に、土壌中のPFOS等の絶対量の分析を行うこととしています。

2 飛散した泡消火薬剤からPFOSが検出される要因を検討するため、以下の水質調査を実施しました。

		単位 (ng/L)		
種別	採取場所	PFOS	PFOA	PFHxS
水質	基地内泡消火専用水槽 ^{※3}	16,100	4,480	10,300
	基地内消火配管末端部 ^{※4}	105,000	34,600	21,100

※3 採取後の確認で、検体採取時に手動ポンプを使いまわした可能性があるなど、検体の採取方法に疑義が生じており、再度分析を行う必要があることが判明しています。なお、分析は専門業者が実施したものであり、業者に送付されたものを分析した結果について疑義があるものではありません。

※4 配管末端部からの採取については、配管のPFOS残留を確認するため、交換作業後に発泡試験を行った範囲以外の部分の配管から採取したもので、飛散した泡消火薬剤の分析結果ではありません。

3 検査結果に対する那覇基地司令意見

- 飛散した泡消火薬剤へのPFOS含有については、
 - ・ 基地内水路で回収した泡消火薬剤(2-a～e)には、数値にばらつきがあるものの、飛散した泡にPFOSが含有していました。
 - ・ 基地内水路下流と基地外の海水からは、PFOSについては不検出、PFOAについては水環境における暫定目標値未満でありました。
 - ・ 他方、基地内水路上流・下流については、那覇市の分析結果と異なる傾向が見られたため、再度分析を行います。
- 本事案発生当時、基地外に飛散した泡消火薬剤にはPFOSが含有されていないと公表しましたが、調査結果から一定のPFOSが含有していたことが判明しており、お詫びし訂正させていただきます。
- 飛散した泡からPFOSが検出された要因については、以下のとおりと考えています。
 - ・ タンク及びその周辺の消火配管については、交換作業前にできる限りPFOS含有泡消火薬剤を取り除くよう努めましたが、洗い流すまでは行わなかったため、配管内にPFOSの成分が残っていたと考えております。
 - ・ さらに交換作業を完了し、交換済みの泡消火薬剤により発泡試験を行った際、配管に通水した溶液に、配管内に残留していたPFOSが溶出し、配管破損箇所から一緒に流出しました。
 - ・ なお、泡消火専用水槽の分析結果については、採取後の確認で、別の検体採取で用いた手動ポンプを洗浄せずにそのまま使っていた可能性があるなど検体の採取方法に疑義が生じており、再度、分析する必要があります。
- 今回の調査により泡消火設備からPFOSの成分が検出されましたが、配管が破損することがなければ発泡試験後に全量が回収され、産業廃棄物として適切に廃棄されるものでした。今後は、配管の破損が生じることがないように適切に施設を維持管理してまいります。
- また、万が一、配管が破損した場合でも、今回のようにPFOSが含まれた泡が飛散することがないように、PFOSを含まない泡消火薬剤への交換に際しては、消火配管のこれまでの維持管理状況(PFOS規制後に配管に水の通水をしているかなど)を確認したうえで、必要に応じ、配管の洗浄を行いたいと考えています。
- 再度実施する分析の結果についても、分かり次第お知らせします。

以上



Goog地図をもとに作成

令和3年4月19日
航空自衛隊那覇基地

泡消火薬剤流出事案に係る那覇市からの要請に対する対応状況

那覇市から要請されている「地域住民に対し適切な説明等を行い、不安の解消に努めること」への那覇基地の取り組み状況について、次のとおりお知らせいたします。

1 概要

令和3年4月8日から同年4月13日の間、基地周辺自治会及び漁業協同組合の方々に対し、泡消火薬剤の飛散に伴うPFOS調査結果として次の内容を説明させていただきました。

2 説明内容

- (1) 基地内外の水質調査及び土壌調査の結果
- (2) 飛散した泡消火薬剤にPFOSが溶出した原因を特定するために実施した水質調査の結果
- (3) 検査結果に対する那覇基地司令コメント

3 説明を実施した団体

- (1) 基地周辺自治会 8団体
 - (2) 漁業協同組合 5団体
- 以上 13団体

令和3年5月26日

(お知らせ)

航空自衛隊那覇基地司令

泡消火薬剤の飛散に伴うPFOS再調査結果について

那覇基地において、2月26日に基地周辺へ泡消火薬剤が飛散した件について、再調査した結果が報告されたので、下記のとおりお知らせします。

記

1 基地内水路上流及び下流の水質についての再調査結果

単位 (ng/L)

種別	採取場所	前回調査結果			再調査結果		
		PFOS	PFOA	PFHxS	PFOS	PFOA	PFHxS
水質	基地内水路上流	68	51	127	43	6.8	13
	基地内水路下流	不検出 ^{※1}	39	194	100	16	79

※1 不検出：5ng/L未満

2 基地内泡消火専用水槽の水質についての再調査結果

単位 (ng/L)

種別	採取場所	前回調査結果			再調査結果		
		PFOS	PFOA	PFHxS	PFOS	PFOA	PFHxS
水質	基地内泡消火専用 水槽	16,100	4,480	10,300	39,000	6,700	18,000
	混合用の水道水 ^{※2}	未実施	未実施	未実施	0.83	0.62	0.35

※2 基地内泡消火専用水槽に入る水道水を採取したもの。

3 再調査結果に対する那覇基地司令意見

(1) 基地内水路の水質について

基地内水路上流及び同下流について、当初に実施した那覇市の分析結果と、那覇基地の分析結果で異なる傾向が見られたため、再調査を実施した結果は次のとおりです。

- ・基地内水路上流の数値は環境省が定めた水環境における暫定目標値と同程度でした。
- ・基地内水路下流の数値は環境省が定めた水環境における暫定目標値を超えていました。そのため、当面の間、水質調査を実施したいと考えています。

(2) 基地内泡消火専用水槽の水質について

基地内の泡消火専用水槽について、検体の採取方法に疑義が生じたことから、再調査を実施した結果は次のとおりです。

- ・基地内泡消火専用水槽内の数値は、39,000 ng/Lという高い値でした。
- ・基地内泡消火専用水槽に入る水道水の数値は、0.83 ng/Lという値でした。

そのため、水槽内の水からPFOSが検出された要因を検討するため、さらに同基地内の同様の燃料施設における2箇所の消火施設の泡消火専用水槽内の水質調査を実施したいと考えています。

なお、基地内の泡消火専用水槽については、適切に維持管理されており、流出の危険性はありません。

また、当該水槽に入っている水については、PFOSの含有が確認されたため、適切に管理を実施するとともに、関係法令に則り、適正に処理してまいります。

【参考】 環境省が定めた水環境における暫定目標値は、PFOSとPFOAの合計で50 ng/L以下